

計画の名称	7 島内、各離島間、県本土・県際間の連携強化により人・物が活発に行き交う快適で活力ある奄美地域の形成（防災・安全）				
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	鹿児島県、奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、伊仙町、和泊町、知名町		
計画の目標	・老朽化したインフラの長寿命化など計画的・戦略的な維持管理を行うとともに、災害等に対する事前防災・減災対策を図る。				

計画の成果目標（定量的指標）	・奄美各港において耐震強化港湾施設の整備により大規模災害時に安全が確保される背後圏の人口数を拡大する。【災害に備えた施設整備】 ・生活航路である定期船の欠航数を削減する。【港湾の安全性・利便性の向上】 ・奄美各港において施設の長寿命化計画及び対策を行い、離島航路の維持を図る。【長寿命化計画策定】 ・奄美各港において施設の効用が失われる時期を延伸するため、機能の改良を行い、施設の維持を図る。【既存施設の延命化のための改良】 ・奄美各港において防波堤の整備により異常時に避難係留可能な係船岸の増加を図る。【小型船だまりの整備】・【利便性向上のための改良】				
----------------	---	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
【災害に備えた施設整備】 大規模災害時に安全が確保される背後圏の人口の拡大各港に耐震強化港湾施設の整備による安全が確保される背後圏の人口数を算出。	0人	0人	13,000人							
【災害に備えた施設整備】・【港湾の安全性・利便性の向上】 定期船の欠航数の削減各港に就航する定期船の欠航総数(年間当り)の削減。	95回	90回 (5%減)	76回 (20%減)							
【長寿命化計画策定】 長寿命化計画の策定率を算出 「長寿命化計画策定率」= (評価年度における長寿命化計画を策定した施設数/長寿命化計画を策定する全施設数) × 100 (%)	34%	95%	100%							
【既存施設の延命化のための改良】 既存施設が機能上支障を来さない安全率を算出 「既存施設の機能障害安全率」= (評価年度における機能上支障がない施設数/延命化改良計画を行う各港の全利用施設数) × 100 (%)	63%	71%	100%							
【小型船だまりの整備】・【利便性向上のための改良】 現地調査調査及び利用者聞き取りにより異常時の避難係留可能隻数を算出する。	30隻	30隻	45隻 (50%増)							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,067百万円	A	1,962百万円	B	百万円	C	105百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.1%

事後評価体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鹿児島県港湾空港課において実施	事業終了後
	公表の方法
	鹿児島県ホームページに掲載

交付金事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
【災害に備えた施設整備】																	
7-A1-1	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	岸壁(-6.5m)(耐震)	水深 D=6.5m、延長 L=160m	名瀬港・本港地区						756	次期継続
7-A1-2	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	緑地	面積 A=20,000m ²	名瀬港・本港地区						0	次期継続
7-A1-3	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	用地	面積 A=20,000m ²	名瀬港・本港地区			●●●●●			63	次期継続 H24地域自主
7-A1-5	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	泊地(-6.5m)(防波堤撤去)	水深 D=6.5m、延長 L=102m	名瀬港・本港地区						83	
7-A1-6	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	港湾施設用地	面積 A=2,600m ²	名瀬港・本港地区						29	次期継続
7-A1-7	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	道路(J)	幅員 D=6.5m、延長 L=510m	名瀬港・本港地区						41	次期継続
7-A1-8	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	道路(B)	幅員 D=6.5m、延長 L=450m	名瀬港・本港地区						68	
7-A1-4	港湾	奄美	宇検村	直接	宇検村	地方	建設	緑地等施設整備事業(避難緑地+親水緑地)	面積 A=1,000m ²	湯湾港・湯湾地区						24	
【利便性向上のための改良】																	
7-A1-48	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	防波堤(内)	延長 L=90m	和泊港・和泊地区		●●●●●	●●●●●			283	次期継続 H23, 24地域自主
【小型船だまりの整備】																	
7-A1-22	港湾	奄美	奄美市	直接	奄美市	地方	改良	物揚場(-3.0m)(改良)	水深 D=3.0m、延長 L=50m	山間港・山間地区						13	
7-A1-23	港湾	奄美	奄美市	直接	奄美市	地方	改良	物揚場(-2.0m)(改良)	水深 D=2.0m、延長 L=110m	山間港・山間地区						80	
7-A1-24	港湾	奄美	奄美市	直接	奄美市	地方	改良	船揚場(改良)	延長 L=20m	山間港・山間地区						44	
7-A1-25	港湾	奄美	奄美市	直接	奄美市	地方	改良	道路(改良)	幅員 D=5.5m、延長 L=31m	山間港・山間地区						1	
7-A1-27	港湾	奄美	奄美市	直接	奄美市	地方	改良	用地護岸(改良)	延長 L=30m	山間港・山間地区						24	

7-A1-97	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	地方	維持管理	喜界島港 長寿命化計画策定	防波堤11件, 係留施設10件	喜界島港・志戸桶地区他						5	
7-A1-107	港湾	奄美	徳之島町	直接	徳之島町	地方	維持管理	母間港 長寿命化計画策定	防波堤2件, 係留施設2件	母間港・大当地区他						2	
7-A1-98	港湾	奄美	伊仙町	直接	伊仙町	地方	維持管理	面縄港 長寿命化計画策定	防波堤4件, 係留施設2件	面縄港・面縄地区						3	
7-A1-99	港湾	奄美	伊仙町	直接	伊仙町	地方	維持管理	鹿浦港 長寿命化計画策定	防波堤3件, 係留施設3件	鹿浦港・鹿浦地区						2	
7-A1-100	港湾	奄美	知名町	直接	知名町	地方	維持管理	住吉港 長寿命化計画策定	防波堤2件, 係留施設4件	住吉港・住吉地区						4	
小計 (港湾事業)															1,962		
合計															1,962		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計															0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
7-C1-1	施設整備	奄美	宇検村	直接	宇検村	避難上屋の設置	緊急時に住民を守るための避難上屋の設置	面積 A=100m2	湯湾港・湯湾地区						50		
7-C1-2	施設整備	奄美	喜界町	直接	喜界町	航路標識灯の設置	利用漁船の安全確保のための標識灯の設置	標識灯 6箇所	喜界島港						8		
7-C1-4	施設整備	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	施設用地の舗装	物資輸送効率の向上のための用地舗装	用地舗装 A=2,600m2	名瀬港・本港地区						47		
合計															105		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
7-C1-1	港湾事業(7-A1-4)と一体的に周辺住民の緊急時の避難場所として、風雨等から住民を守るための避難上屋を設置する。																
7-C1-2	港湾事業(7-A1-38~47)と一体的に小型船の航行安全性の向上を図るために、航路標識灯を整備する。																
7-C1-4	港湾事業(7-A1-1, 7-A1-6)と一体的に荷役車両による物資輸送効率の向上を図るために、舗装の整備を行う。																

その他関連する事業																	
計画書の名称等 島内、各離島間、県本土・県際間の連携強化により人・物が活発に行き交う快適で活力ある奄美地域の形成 (地域活性化)																	
番号	事業種別	交付対象					要素となる事業名 (事業箇所)		港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
【港湾の安全性・利便性の向上】																	
7-A' 1-9	港湾		鹿児島県				防波堤(南)		古仁屋港・須手地区						2,706		
7-A' 1-10	港湾		鹿児島県				防波堤(沖)		湾港・湾地区						3,057		
7-A' 1-11	港湾		鹿児島県				道路(A)		湾港・湾地区						45		
7-A' 1-17	港湾		鹿児島県				防波堤(沖)(南)		亀徳港・亀徳地区						1,773		
7-A' 1-18	港湾		鹿児島県				防波堤(沖)(北)		平土野港・平土野地区						1,129		
7-A' 1-35	港湾		瀬戸内町				防波堤(沖)		与路港・与路地区						372		
【小型船だまりの整備】																	
7-A' 1-12	港湾		鹿児島県				防波堤(内)(B)		湾港・湾地区						0		
7-A' 1-13	港湾		鹿児島県				物揚場(-2.0m)		湾港・湾地区						0		
7-A' 1-14	港湾		鹿児島県				航路泊地(-2.0m)		湾港・湾地区						0		
7-A' 1-15	港湾		鹿児島県				港湾施設用地(B)		湾港・湾地区						0		
7-A' 1-19	港湾		奄美市				道路		赤木名港・前肥田地区						60		
7-A' 1-20	港湾		奄美市				泊地(-3.0m)		山間港・山間地区						0		
7-A' 1-21	港湾		奄美市				泊地(-2.0m)(A)		山間港・山間地区						3		
7-A' 1-26	港湾		奄美市				港湾施設用地III		山間港・山間地区						0		
7-A' 1-28	港湾		瀬戸内町				防波堤		加計呂麻港・瀬武地区						430		
7-A' 1-29	港湾		瀬戸内町				護岸(防波)		加計呂麻港・瀬武地区						6		
7-A' 1-30	港湾		瀬戸内町				物揚場(-2.0m)		加計呂麻港・瀬武地区						48		
7-A' 1-31	港湾		瀬戸内町				港湾施設用地		加計呂麻港・瀬武地区						0		
7-A' 1-33	港湾		瀬戸内町				泊地(-2.0m)		加計呂麻港・瀬武地区						42		
7-A' 1-34	港湾		瀬戸内町				道路		加計呂麻港・瀬武地区						9		
7-A' 1-104	港湾		瀬戸内町				船揚場		加計呂麻港・瀬武地区						42		
7-A' 1-36	港湾		宇検村				防砂堤		湯湾港・須古地区						168		
7-A' 1-37	港湾		宇検村				船揚場		湯湾港・湯湾地区						103		
7-A' 1-38	港湾		喜界町				航路(-2.0m)		喜界島港・志戸桶地区						105		
7-A' 1-39	港湾		喜界町				泊地(-2.0m)		喜界島港・志戸桶地区						141		
7-A' 1-40	港湾		喜界町				防波堤(沖)		喜界島港・志戸桶地区						1,703		

7-A' 1-41	港湾		喜界町					物揚場(-2.0m)		喜界島港・志戸桶地区							68
7-A' 1-42	港湾		喜界町					道路		喜界島港・志戸桶地区							0
7-A' 1-43	港湾		喜界町					港湾施設用地		喜界島港・志戸桶地区							0
7-A' 1-44	港湾		喜界町					防波堤(沖)		喜界島港・浦原地区							134
7-A' 1-46	港湾		喜界町					航路(-2.0m)		喜界島港・浦原地区							0
7-A' 1-47	港湾		喜界町					泊地(-2.0m)		喜界島港・浦原地区							0

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
7-C' 1-3	施設整備		喜界町				利用者の利便性の向上を図るための用地舗装		喜界島港								44	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	
7-C' 1-3	港湾事業(7-A1-38~47)と一体的に荷捌機能の利便性向上を図るために、舗装の整備を行う。																	

A'	12,143百万円	B'	百万円	C'	44百万円	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	0.4%
----	-----------	----	-----	----	-------	---------------------------------------	------

事業効果の発現状況, 目標の達成状況			
定量的指標に関連する交付金対象事業の効果の発現状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・名瀬港において耐震強化港湾施設の整備進捗を行ったが、緑地等整備が完了しなかったため、大規模災害時に安全が確保される背後圏の人口拡大には至らなかった。 ・各港において防波堤等の整備進捗により、港内静穏度の向上が図られた。 ・各港において施設の延命化に資する長寿命化計画策定を行った。 ・各港において既存施設の延命化のための改良を行い、施設の維持が図られた。 ・各港において小型船溜まりの整備進捗により、係留可能な係船岸の増加が図られた。 			
定量的指標の達成度		最終目標値	最終実績値
【災害に備えた施設整備】 大規模災害時に安全が確保される背後圏の人口の拡大 各港に耐震強化港湾施設の整備による安全が確保される背後圏の人口数を算出。		13,000人	0人
【災害に備えた施設整備】・【港湾の安全性・利便性の向上】 定期船の欠航数の削減 各港に就航する定期船の欠航総数(年間当り)の削減。		76回	186回※ (H27)
【長寿命化計画策定】 長寿命化計画の策定率を算出 「長寿命化計画策定率」= (評価年度における長寿命化計画を策定した施設数/長寿命化計画を策定する全施設数) × 100 (%)		100%	100%
【既存施設の延命化のための改良】 既存施設が機能上支障を来さない安全率を算出 「既存施設の機能障害安全率」= (評価年度における機能上支障がない施設数/延命化改良計画を行う各港の全利用施設数) × 100 (%)		100%	59%
【小型船だまりの整備】・【利便性向上のための改良】 現地調査調査及び利用者聞き取りにより異常時の避難係留可能隻数を算出する。		45隻	35隻
定量的指標以外の交付金対象事業の効果の発現状況(必要に応じて)			

(参考図面)活力創出基盤整備

